



交流自治体の

「マンホール」

の
「^{ふた}蓋」
特集



昨年の2月に区内5カ所になみすけ柄のカラーマンホールが設置されました。気になったので交流自治体にはどんなマンホールがあるのか調べてみました。ということで、てくてく第10号では交流自治体の「マンホールの蓋」を特集します。地域の花や動物、マスコットキャラクター、はたまた古くから伝わる伝説まで。普段あまり目を向けられないマンホール蓋には、その街や村からの様々なメッセージが隠されています。ここに紹介しきれないほど様々な種類のマンホールがあるので、交流自治体を訪れたら、たまには少し下を向いて歩いてみるのもいいかもしれませんね。

福島県南相馬市

南相馬市のマンホールに描かれているのは市内小高地域に伝わる「大悲山大蛇物語」にまつわるものです。

昔々、玉都^{たまいち}という盲目の琵琶法師が小高に住んでいました。玉都は、目が良くなるようにと大悲山の薬師堂を訪れ毎晩琵琶を奏でて願掛けをしていました。ところがある晩、玉都の元へ大蛇が現れ、小高一帯に大雨を降らせ沼にするとします。玉都が毎晩奏でる美しい琵琶の音色のお礼に、お前の目を治してやると言われた玉都でしたが、悩んだ末に村人たちに大蛇のたくらみを知らせました。怒った大蛇によって玉都は殺されてしまいますが、村人たちは大蛇を退治し小高を大雨の洪水から救うことができたそうです。

南相馬市小高区南部にある大悲山大蛇物語公園には、樹齢1000年を誇る「大悲山の杉」や日本三大磨崖仏(岩壁に直接彫られた仏像)の一つに数えられる「大悲山の石仏」がひっそりとたたずんでいます。周辺には、玉都の琵琶が落ちた「琵琶橋」、退治された際に大蛇の角が落ちた「角部内」、耳が落ちた「耳谷^{みみがい}」など、物語にゆかりの地名が残り、人々の思いの深さをうかがい知ることができます。カラーマンホールは、JR常磐線小高駅前に設置されています。

観光スポット



大悲山 大蛇物語公園

福島県南相馬市小高区泉沢字薬師前
☎0244-22-2114 南相馬観光協会

●マンホールカードの配布場所
小高区役所市民総合サービス課
福島県南相馬市小高区本町二丁目78
(南相馬市小高区役所1階)
☎0244-44-6711

新型コロナウイルス感染症の影響により、マンホールカードの配布を休止している場合がございます。詳しくは各自治体のホームページ等をご確認ください。